

令和6年度 第2回 学校評議員会

日 時：令和6年11月28日（木） 9時50分～10時50分

場 所：本校多目的教室

出席者：学校評議員7名 学校職員10名

1. 開会

2. 学校長挨拶

- ・3年生は定期考査を終えて入試、共通テストに向けて準備を進めている。
- ・12月7日（土）附属中入学者選抜を控えている。
- ・学校行事ではクラスマッチを生徒主体で運営し、大いに盛り上がった。
- ・駅前イルミネーションは3年目になるが、近隣の方からも理解をいただき好評を得ている。
- ・SSHは先導型改革型Ⅱ期の取組みを進めている。特に信州大学工学部を会場に借りて開催した課題研究研修会では県内外の参加校から有意義な取組みだったと好評を得た。
- ・本校の志願状況は附属中志願者229名、信大付属中と同日程での検査日という中で、多くの小学6年生が本校を志願してくれたことはありがたい。屋代高校への進学希望者も例年より多い。期待に応える学校づくりを進める。
- ・生徒、保護者による学校評価アンケートの結果では、いじめや体罰のない安心安全な学校運営への評価が高い。本校の姿勢が生徒にも伝わっている成果である。
- ・SSHへの関心について評価が下がったが、探究活動については生徒の中に浸透してきた。探究学習は自身のキャリア形成につなげる生徒も出てきている。
- ・家庭学習について自主的に取り組むのが難しい生徒も一定数いる。継続的な課題である。

3. 学校からの説明

（1）附属中学校の主な取り組み

- ・生徒の様子としては、「文武両道」を合言葉に、様々な活動に意欲的に取り組んでいる。
- ・全国学力調査の結果からも多くの生徒について学習内容の定着が見られる。
- ・自ら学びを広げている生徒が数多くいる一方で、家庭学習に苦勞している生徒も見られる。効果的な支援方法を模索している。
- ・今年度の特徴的な取組みとしては、教職員の研修機会を多くとり、研鑽に努めている。
- ・生徒の自主的な活動も充実して実施できた。（千曲市科学教室の講師、千曲市平和の集いへの参加、各学年で研修旅行の開催）
- ・班活動は様々な班で成果を収めた。科学班は2年ぶりに科学の甲子園ジュニア（全国大会）への出場を果たした。
- ・中学3年では学習用端末のBYOD化を実施した。生徒も自分が高校卒業まで所持する端末を利用しながら授業や活動を進めている。

（2）キャリア教育について

- ・共通テストは新課程1年目で今年度から「情報Ⅰ」が入り、一部科目で試験時間が長くなるなど、昨年度までとの変更点が多い。出願状況はほぼ全ての生徒が出願している。
- ・後期9月より「鳩タイム」を導入し、一部時間割を組替えながら、英国数で2時間連続の授業を実施。共通テストを見据えた授業を実施している。
- ・推薦入試、総合型選抜の受験については、第一志望の大学、学部で、大学側が提示する条件に合致していれば受験を勧めている。昨年度より総合型での出願が増えた。年内入試は9月～11月での出願が多い、現役生はまだ学力が伸びる時期であるため、目標を貫くよう指導をしている。

（3）SSHについて

- ・課題研究（探究活動）については、今年度新規事業として信大工学部を会場に、NSC課題研究研修会を実施した。他県からも3校の参加があり大変好評を得た。生徒の研修だけでなく、参加

した教員用の講習会を同時に展開して、課題研究の指導について研鑽を深めた。

- ・SSH特設科目「データサイエンス」の一環で、1学年全員で統計グラフコンクールに応募をした。最優秀賞をはじめ7名の生徒が受賞をした。全国コンクールでも入選を果たした。
- ・今年度より実施をしたSSH特設科目「STEAM探究」は、多くの生徒が自主的に受講している。モチベーションの高い講座が展開されている。金融セミナーは約90名の生徒が参加をした。
- ・同じく今年度より実施をしたSSH特設科目「信大STEAM連携」では、信州大学の高校生向け「先取り履修」プログラムの受講を本校の単位認定としている。本年度は9名の生徒が受講。
- ・11月末より、オーストラリアでの海外研修を実施する。10名の生徒が参加。シドニー大学での研修やウェノナ高校との交流など、本校独自の研修プログラムを実施している。

(4) 学校評価について

○中学校より

- ・生徒、保護者ともに概ね8～9割で肯定的な評価を得ている。特に授業、生活への満足度は高い。
- ・一人ひとりに対する指導への評価は改善の余地がある。
- ・授業改善や個別サポートへの要望がある。家庭学習の形式については今後も研究を続けていく。
- ・班活動に対してはさまざまな意見がある。肯定的な意見も多い。

○高校より

- ・班活動や生徒会、清掃への取組み等の生徒自身の努力が見られる項目は高い傾向にある。
- ・進路指導や授業について若干の低下が見られる、個々に応じた要望が強くなってきている。
- ・保護者の「子どもを屋代高校に入学させて良かった」という項目ではとりわけ高い評価を得た。
- ・探究学習については、前向きに捉えて進路につなげていく生徒が増えてきているが、一方で主体的に取り組めていない生徒もいるように感じる。
- ・老朽化した校舎の修繕をはじめ施設面での要望が多い。

4. 質疑及びご提言

【質疑】

- ・SSH特設講座の中に「金融セミナー」の導入した理由は。
→SSHは理科系の事業だけでなく、「文理融合」の視点から教科の枠を超えて事業を実施している。「金融セミナー」も家庭科の金融教育との関わりを持たせながら、分野のバランスを取って実施している。
- ・海外研修先を「オーストラリア」に選定した理由は。
→研修先の「シドニー大学」については東大の先生から紹介をいただいた。アメリカは金額的な面で研修先を選ぶのは厳しい。オーストラリアは時差が少ないため、研修の事前、事後学習としてオンラインでも交流がしやすいメリットがある。
- ・施設面について、校舎の老朽化について生徒と保護者の認識が一致しているのか。
→2棟大規模改修がある。トイレも計画的に改修している。訪れた保護者は昔ながらの施設に違和感を覚えることはある。
- ・高校生の通塾の割合は。
→高校生の通塾は4割程度、中学から継続して通塾している生徒も多い。

【ご意見】

- ・アンケートの家庭学習の定着について、生徒と保護者の要望に乖離がある。本来は学習方法も含めて自分で考えるべき。「骨太な知識」を得るために生徒が家庭学習を主体的に考える必要性を周知していくことも必要。
→生徒が主体的に家庭学習に取り組めるようなやり方を引き続き研究し、家庭学習の意義についても生徒や保護者に伝えていきたい。
- ・公共交通機関について、生徒の通学に支障がないように自治体への働きかけなども含めて調整してほしい。
→屋代須坂線のバスのダイヤ改正には、千曲市交通局へ要望を挙げた。校長会としても、公共交通機関の維持について要望を挙げている。

- ・学力の2極化は屋代高校だけでなく様々な学校で大きくなっている印象がある。主体的な学びができるかどうか大きな要因であろう。学びに時間のかかる生徒への対応をどうするか。学力は個人で差があるのは当然なので、身近な目標を設定して少しずつ改善できると良い。
→学習目的に応じた補習を実施している。各教科で基礎的な学力を定着させる講座から発展的な内容を扱う講座まで開設している。
- ・総合型入試では探究活動も評価される。教科の学力だけでなく、生徒自身がモチベーションをもってやりたいことをやれるという点で良い制度だと感じる。
→探究学習の成果を入試に直結できるケースは多くない。様々な方法の入試があることをしっかりと周知して、生徒それぞれに合う形での受験を目指していく。
- ・上田市の税に関する作文受賞者上位3名が附属中学生だった。様々なコンテストに参加することで、実社会に多面的に目を向ける良い機会だと感じる。
- ・探究活動は社会の生の声を聞ける機会であり、キャリア形成にもつながる学習だと思う。
- ・屋代高校を卒業した東大生の手記を読むと、通学時間が長いデメリットはあったが、時間の使い方を工夫したことがプラスになったという記載があった。そのような卒業生の講演を聞くのは良い機会になると思う。
- ・アンケートの「家庭学習への取組み」については、家庭学習に主体的に取り組めない背景としてSNSなどスマホで時間を取られることもあるだろう。情報モラル教育も大切にしてほしい。
→中学では家庭内でスマホの使用ルールを考えるような機会を設けている。情報モラルについても継続的に指導していく。
- ・学校が活発でいることは地域にとっても良いことなので、継続してほしい。
- ・生徒に寄り添った指導をお願いしたい。生徒一人ひとりの良さを見つけてあげることが必要である。学習で悩んでいる生徒にもさまざまな面で良さがあるはずである。そのような面を拾い上げると学校生活が上手くいくこともある。
- ・授業改善は小学校でも課題。今の生徒の興味に沿うような授業展開ができると良い。
- ・自主的な家庭学習の進め方は他の中学校でも課題である。一例としては良い家庭学習の成果を張り出して周知している。
- ・受験を控えて学習に一生懸命励む3年生を見て、保護者として入試の日に元気に子どもを送り出してあげたいという気持ちである。
- ・朝や放課後に学習する生徒が多いということでは、校内に学習場所が確保できているのはありがたい。
- ・探究学習が活発に行われているのはよい。今後も地域や機関とつながり、社会と相互に関わりながら活動していったほしい。

5. 諸連絡

- ・学校評議員による評価についてお願い
- ・次回予定：2月下旬

6. 閉会